

矢部清流学園 学園だより

善遊善学

敬愛・・・人を大切にすることも

克己・・・粘り強く取り組む子ども

創造・・・主体的に活動する子ども

令和3年

3月24日

第31号

編集責任者 山口 浩史

前期課程修了証書授与式を挙行了しました！

3月24日(水)は、1～8年生の修了式を行った後に前期課程の修了証書授与式をおこないました。矢部清流学園は、義務教育学校となったため6年生は卒業せずに7年生に進級します。したがって卒業式はおこなわれません。しかしながら、前期課程(小学校)の全課程は修了したので、卒業式に替えて前期課程修了証書授与式として挙行了しました。

6年生は、4月から後期課程の生徒となり、学生服とセーラー服で登校するため、6年間着用してきた標準服での式典参加はこれが最後となります。子どもたちは、担任のS先生の呼名に大きな声で返事をし、壇上で証書を受け取った後、今後の自分の夢を堂々と語ってくれました。また、卒業式に替わる節目の式典ですので、6年生の保護者の皆様にも参加していただきました。

平成31年度の1年間は、義務教育学校としての開校準備のため、6年生は、現7年生と共に矢部小学校と矢部中学校の両方で学校生活を送り、小学生と中学生をつなぐ役割を見事に果たしてくれました。4月からは、先輩を支え、後輩をいたわることができるすばらしい7年生として、矢部清流学園を今以上にもっとよい学校へと高めてくれることを期待しています。

6年生の皆さん、前期課程の修了おめでとうございます。



矢部清流学園開校1年目のご支援に感謝申し上げます！

本日、3月24日(水)に1～8年生の修了式と6年生の前期課程修了証書授与式を終え、矢部清流学園の開校1年目の行事を無事に終わることができました。

義務教育学校として生まれ変わった矢部清流学園は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の結果、縮小した形ではありましたが、令和2年4月6日に開校式を、4月8日に入学式を実施してスタートし、早くも1年が経ちました。

本校は、学校教育目標である「ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な体を持ち、共に伸びる児童生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ『総がかりの教育』の推進」に取り組んで参りました。その目標達成のために、授業改善を行ったり、学校行事を効果的に実施したりしました。また、今年度から始まった地域学校協働本部との連携により、地域の皆様にたくさんの支援をしていただきました。そのおかげで、子どもたちは、他校ではまねができないような多くの貴重な体験をすることができました。私たち職員一同は、学力や体力を身につけ、ふるさと矢部を愛する子どもたちに育てていることを実感しております。

この1年間、八女市教育委員会や矢部地区の皆様方にたくさんの支援をいただきましたことに感謝申し上げます。また、令和3年度も矢部清流学園の教育に、これまで同様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

後期課程の子どもたちが愛樹祭の記念植樹を行いました！

3月8日(月)の昼休みに後期課程の子どもたちが愛樹祭の記念植樹を行いました。今年度も新型コロナの影響で、愛樹祭の表彰式が中止になったため、植樹のみ実施されました。本校からは、K・Cさんが詩・作文



の部で森の大賞(文部科学大臣賞)を受賞しています。入賞者は以下の通りです。表彰状は郵送される予定です。入賞した皆さん、おめでとうございます。

○詩・作文の部 森の大賞(文部科学大臣賞) K・C

県・みどりの賞(福岡県知事賞) T・K、市・みどりの賞(八女市長賞) S・J

選考委員特別賞(椎窓 猛賞) I・T、RKB 毎日放送賞 K・K

FBS 福岡放送賞 M・S、毎日新聞社賞 Y・A

○絵画の部 JA ぶんかおか八女組合長賞 K・K

3年生が八女消防署矢部分署を訪問しました！

3月15日(月)に3年生が八女消防署矢部分署を訪問しました。この訪問は、社会科の「地域の安全を守る」という単元の「火事からまちを守る」という学習一環です。本来は10月頃に行う予定でしたが、新型コロナ感染拡大防止のため消防署の訪問ができず、3月の実施となりました。

子どもたちは、消防署の設備を見学したり、酸素ボンベなどの装備を身に付けさせていただいたり、様々な体験をすることができました。矢部の安全を守っていただいている消防署の皆さんに改めて感謝の思いを抱く学習となりました。



原木椎茸の食菌を体験しました！

3月16日(火)の総合的な学習の時間に5・6年生がN・Mさんを講師にお招きして、クヌギの原木に椎茸の菌を打ち込む植菌の体験を行いました。



矢部清流学園では、来年度から前期課程の総合的な学習の時間に、椎茸を原木で栽培し、どのようなお世話すると大きく成長していくか学習します。そして、成長した椎茸を収穫して、矢部まつり等で販売することをめざしています。年間を通して椎茸栽培の学習を行い、販売までの農業経営という経済活動まで学ぶことで、矢部村の産業の素晴らしさを学ばせたいと考えています。また、販売するときのパッケージデザインを子どもたちが考え作成したり、椎茸が生育できなくなった古い原木からカブトムシの幼虫の飼育をしたりしたいとも考えています。椎茸やカブトムシなど、矢部清流学園ならではの学習に本気で取り組みます。